八頭町

議会だより

第87号

鳥取県八頭町議会
令和８年11月発行



小原徹也議員は撮影欠席

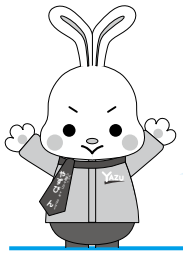
新しい議会体制で決算認定
(令和8年9月8日撮影)

注目の記事

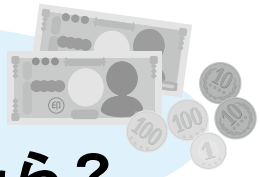
■ ９月定例会・・・・・・・・・・・・・・２～７
■ 委員会の活動報告　・・・・・・・・・・・10
■ 議会報告会＆意見交換会　・・・12、13
■ 一般質問ダイジェスト　・・・16～25

右の二次元コードから「議会だより」が見られます。

～八頭町の『お財布事情』～



やずぴょん家のお財布の中身が 10,000円だったら？



やずぴょん家の家計費にたとえてみました!!

自主財源	自分で稼いだお金 ……	2,614 円
依存財源	親や国からもらうお金 ……	7,386 円

やずぴょんの家計費で例えると	換算額(円)
医療費･保険料･生活サポート費	2,939
家賃･光熱費･通信費	2,017
ローン返済･クレジットカード分割払い	1,089
家庭菜園や観葉植物の購入費	1,057
自己啓発･習い事･書籍代	852
住居の修繕･リフォーム費	636
健康診断･衛生用品･クリーニング代	626
緊急時の修理費･予備費	347
火災保険･防災グッズ購入費	270
資格取得や自己投資費用	89
地域活動やサークル会費	78
合計	10,000



財政健全化判断

（単位：%※④は指数（単位なし））

	平成17年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①実質収支比率	3.7	13.1	11.6	14.5
②経常収支比率	89.5	91.9	89.1	90.0
③実質公債費比率（3か年平均）	17.6	9.3	10.0	10.7
④財政力指数（3か年平均）	0.238	0.230	0.232	0.232
⑤自主財源比率	22.4	25.1	24.7	25.9
⑥将来負担比率		20.7	19.8	21.6

まとめ

上の表は八頭町の財政状況を多角的に示す重要な比率･指数です。令和7年度は実質収支比率が高く黒字幅が拡大していますが、経常収支比率が90%に達しており、今後の財政運営には引き続き注意が必要です。自主財源比率や財政力指数からは、町独自の財源確保が今後の課題であることが読み取れます。

令和７年度決算認定

令和７年度の決算審査では、一般会計・特別会計を審査し認定しました。

一般会計

歳入　142億5,811万円

自主財源　37億2,760万円　26.1%

◎町税･分担金及び負担金･使用料及び手数料･財産収入･寄附金･繰入金･繰越金･諸収入

※ふるさと納税額:4億3,244万円（23,908件）

依存財源　105億3,051万円　73.9%

◎地方交付税･国庫支出金･県支出金･町債等

歳出　131億5,413万円

科目	決算額	総歳出に対する比率	主な事業･事業費または内容	
1 民生費	38億6,648万円	29.4%	電力･ガス･食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	4,623万円
			物価高対応子育て応援手当給付事業	4,253万円
2 総務費	26億5,269万円	20.1%	ふるさと納税促進事業	2億2,713万円
			若桜鉄道対策費	2億1,599万円
3 公債費	14億3,307万円	10.9%	町が借り入れたお金に対する返済金	
4 農林水産業費	13億9,128万円	10.5%	地域おこし協力隊事業	3,876万円
			ともに目指す!担い手強化支援事業	2,755万円
			令和の米増産緊急支援事業補助金	2,557万円
			野生鳥獣被害防止事業費	5,151万円
5 教育費	11億2,140万円	8.5%	スクールバス管理運営費	7,031万円
6 土木費	8億3,637万円	6.4%	融雪対策費	1億6,178万円
7 衛生費	8億2,376万円	6.3%	長寿健康推進事業費	4,982万円
8 災害復旧費	4億5,583万円	3.5%	令和5年に被災した農地、農業施設の復旧費用	
9 消防費	3億5,497万円	2.7%	町の消防･救命活動や地域の防災体制を支える費用	
10 商工費	1億1,670万円	0.9%	キャシュレス決済システム導入委託料	2,167万円
11 議会費	1億　158万円	0.8%	議員報酬及び議会運営･事務執行の費用	

歳入と歳出の差額は余剰金となり翌年度の財源や基金へ回ります。

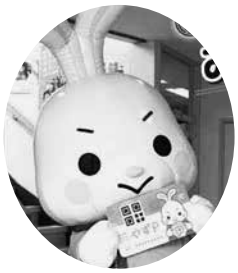
特別会計　国民健康保険･介護保険･宅地造成･墓地事業･後期高齢者医療･財産区等

歳入　45億9,355万円　　**歳出**　42億3,926万円

余剰金は原則、会計内で翌年度の事業費に繰り越すか基金へ積み、保険料等の安定な運用を図ります。

補正予算

やずPの利用で八頭町を元気に!



八頭町デジタル給付金発行業務委託　8,468 万円

物価高騰対策として、町民お一人当たり、八頭町デジタルポイントやずPを5,000ポイント（5,000円相当）給付するもの。

実施期間　令和８年12月１日～令和９年１月31日（予定）

条例改正

八頭町の未来を支える新体制

八頭町課設置条例の一部改正



段ボールベッドの組み立て（避難訓練）

自然災害の激甚化に伴う防災及び危機管理体制の強化を図ることを目的として、新たに「防災安全課」を設置するとともに、若桜鉄道を含む交通政策及びふるさと納税に関する事務を商工観光部門へ一元化し、より効率的かつ効果的な施策を推進することを目的として「商工観光課」を新設等所要の改正を行うもの。

主な組織改変の内容

防災室	→	防災安全課（新設）
商工観光室	→	商工観光課（新設）
産業観光課	→	農林振興課（名称変更）

条例改正

令和9年4月から下水道使用料が変わります

八頭町公共下水道条例の一部改正



郡家浄化センター

令和９年４月請求分から一般家庭の下水道使用料を現行の人数制から使用水量に応じた従量制に変更し、使用料単価の改定を行うもの。また、井戸水等を利用し使用水量が把握できない場合は世帯人数に応じた認定水量での算定となります。

補正予算

ふるさと納税が増加しています

ふるさと納税促進事業　8,348 万円



ふるさと納税見込額の増加により、手数料・委託料・使用料を補正するもの。

専門チーム「ふるSAT」を結成し、傾向と対策を協議しながら分析をし、時流に合わせふるさと納税の促進を図るもの。

９月定例会ダイジェスト

９月定例会を８日から18日までの11日間の会期で開催しました。報告２件と条例の一部改正９件、補正予算７件、決算認定13件、追加議案１件が提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

また、陳情１件は趣旨採択、議員発議１件は可決しました。

発　議

常任委員会の所管課が変わります

八頭町委員会条例の一部改正

八頭町課設置条例の一部改正により、新たに「防災安全課」と「商工観光課」が新設されたことに伴い、常任委員会の所管課を変更することにより、議会の効率的な運営に寄与し、もって信頼される議会の実現に資することを目的としています。

総務教育常任委員会



川西　聡 委員長

新たに防災安全課と商工観光課が所管になりました。施策の充実を図るための審議や調査に努めます。

近年の激甚化する自然災害に対応するため、丁寧に調査したいと思います。

出納室、**防災安全課**、税務課、総務課、選挙管理委員会、企画課、男女共同参画センター、議会事務局、監査委員、人権推進課、**商工観光課**、教育委員会

産業福祉常任委員会



森　亜紀子 委員長

これからの「持続可能な農林業」「環境への配慮」の両立を目指し、八頭町の面積の約８割を占める森林環境の整備や基幹産業の農業振興を、丁寧に調査していきたいと考えています。

町民課、福祉課、保健課、**農林振興課**、農業委員会、地籍調査課、建設課、上下水道課

契約の締　結

八東地区の多世代交流拠点整備へ

八東地区多世代交流施設新築工事請負契約の締結



完成イメージ図

□契約金額

一金　354,970,000円

□契約の相手方

八東地区多世代交流施設新築工事

こおげ建設・松田組・八田建設特定建設工事共同企業体

代表者　こおげ建設株式会社　代表取締役　山根　敏樹

若桜鉄道の底力

令和7年度は43万円余の黒字決算へ

若桜鉄道の旅客人員は、44万2,552人で、前年に比べて、2万453人の増加となりました。

台湾、香港などの訪日外国人旅行者が増加し、普通乗車だけでなく、臨時貸切列車や団体乗車の利用が増えたこと、鳥取方面からの定期利用者が増えたことが主な要因です。

旅客収入については、全体で、4,543万円余となり、対前年比96％、199万6千円の減となりました。これまで以上に官民共同で公共交通の利用を進める必要があります。

また、安全対策としては、枕木交換、老朽化が進む保安通信設備の改良や、踏切の安全対策などの安全関連施設の更新や修繕を行っており、国の補助事業を活用しながら安全管理を行うことが求められます。

若桜鉄道損益計算書の概要

営業収益	313,018,007円	営業外収益	27,774,749円
営業費用	342,482,931円	営業外費用	5,931,548円
営業損益額	△29,464,924円	営業外損益	21,843,201円

経常損益	**△7,621,723円**
特別利益（補助金等）	8,240,167円
税引前当期利益	618,444円
法人税等	182,500円
当期損益	**435,944円**

利用促進の取り組み

・高校生通学費助成を継続
・若桜鉄道１日フリー切符キャンペーン夏冬の２回実施
（利用実績　1,538 枚）

観光地域活性化

・デジタルスタンプラリー　・学習列車（３校４回）
・卒園列車（５園５回）
・JR 西日本と連携「あめつち因美線乗り入れ事業」
・インバウンド向け営業活動　・「１日駅長体験」
・「SL/DL 体験運転」

経営努力

・他事業者から修繕業務を受注
・経費削減の推進



貸切列車で八頭・若桜の地酒を味わう香港からの団体客

議案等議決結果（第６回定例会）

議案等番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
	件名	森亜紀子	小原徹也	上野典子	田中俊光	谷本正敏	山根張太郎	岡嶋正広	奥田のぶよ	髙橋信一郎	瀬村巧	中原幸恵	川西聡	灘口茂郎	
79	八頭町課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
80	八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81	八頭町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
82	八頭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
83	八頭町家庭的保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84	八頭町公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
85	八頭町小規模集合排水処理施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86	八頭町農業集落排水施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87	八頭町合併処理浄化槽施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88	令和８年度八頭町一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89	令和８年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
90	令和８年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
91	令和８年度八頭町市場・覚王寺財産区特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
92	令和８年度八頭町大江財産区特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
93	令和８年度八頭町簡易水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
94	令和８年度八頭町下水道等事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
95	令和７年度八頭町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
96	令和７年度八頭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
97	令和７年度八頭町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
98	令和７年度八頭町宅地造成特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
99	令和７年度八頭町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
100	令和７年度八頭町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
101	令和７年度八頭町上私都財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
102	令和７年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
103	令和７年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
104	令和７年度八頭町篠波財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
105	令和７年度八頭町大江財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
106	令和７年度八頭町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
107	令和７年度八頭町下水道等事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
108	八東地区多世代交流施設新築工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情７号	非核３原則の堅持を求める意見書を貴議会から提出するよう求める陳情	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	趣旨採択
発議1号	八頭町議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和8年度（6月20日～9月18日）議会活動の出欠日数一覧

【定例会・臨時会・研修会等】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名	議員名	森 亜紀子	小原 徹也	上野 典子	田中 俊光	谷本 正敏	山根張太郎	岡嶋 正広	奥田のぶよ	髙橋信一郎	瀬村 巧	中原 幸恵	川西 聡	灘口 茂郎	川西美恵子
鳥取県町村議会議長会広報研修会（７月６日）	出	1		1	1			1	1		1			1	
八頭町議会報告＆意見交換会（７月７，８，９日）	出	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	欠		1												
八頭町議会人権研修会（７月22日）	出	1		1	1		1	1	1		1	1	1	1	1
	欠		1			1				1					
全国町村国際文化研修所研修（７月27,28日）	出						2		2			2			
鳥取県町村議会議長会女性議員研修会（７月29日）（湯梨浜町）	出	1		1					1			1			1
全国町村国際文化研修所研修（８月６，７日）	出	2						2							
全国町村議会広報研修会（８月28日）	出			1					1		1				
八頭町議会モニター会議（８月31日）	出	1			1		1	1	1				1	1	1
第6回定例会、会期は11日間（９月８～18日）※本会議は4日間	出	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	欠									遅①					
議会運営委員会（４回）	出	4			4		4	4	4				4	3	4
総務教育常任委員会（２回）	出		1		2				2	2	2		2		2
	欠		病①												
産業福祉常任委員会（２回）	出	2		2		2	2	2				2		2	
予算決算常任委員会（３回）	出	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
全員協議会（５回）	出	5	4	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5
	欠		病① 早①							2					
議会広報委員会（２回）	出	2		2	2			2	2		2			2	
議会ＤＸ研修会（１回）	出	1		1	1		1	1	1		1	1	1	1	
議員・定数報酬調査特別委員会（２回）	出	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1
	欠		病①							1					
委員長会議（１回）	出	1			1		1	1	1				1	1	1
議会活動（出席依頼等）	出				1								4	3	26
出席数	回	33	15	26	31	19	29	32	34	16	25	24	31	32	52
欠席数	回	0	5	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0
議会活動合計	回	33	20	26	31	20	29	32	34	20	25	24	31	32	52
※出席率（出席回数/総数）	%	100	75	100	100	95	100	100	100	80	100	100	100	100	100
病欠休暇回数	回	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早退回数	回	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遅刻回数	回	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

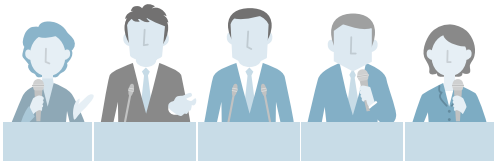
【出席率全体　（令和8年4月1日～令和8年9月18日）】

出席数	回	61	32	47	59	37	56	59	63	28	46	45	59	66	106
欠席数	回	0	6	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0
議会活動合計	回	61	38	47	59	38	56	59	63	38	46	45	59	66	106
※出席率（出席回数/総数）	%	100	84	100	100	97	100	100	100	74	100	100	100	100	100
病欠休暇回数	回	0	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
早退回数	回	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
遅刻回数	回	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0

※欠は私事による欠席、早は私事による早退　※病は診断書に基づく病欠休暇　※出席率は小数点1位を四捨五入しました。

右の二次元コードから「各議員の詳しい出欠状況」がご覧いただけます。

議会のうごき



令和８年

6月23日	令和８年度第１回八頭町人権教育推進協議会役員会	（川西み議長出席）
6月26日	郡家西小学校議会見学	（川西み議長出席）
6月29日	鳥取県町村議会議長会定期総会	（川西み議長出席）
7月1日	第 76 回社会を明るくする運動街頭啓発活動	（川西み議長出席）
	全員協議会、議員・定数報酬調査特別委員会	
	渋谷区議会行政視察（隼 Lab）	（川西み議長出席）
7月5日	八頭町船岡農場直売所開所式	（川西み議長出席）
7月6日	鳥取県町村議会広報研修会	
7月7日	八頭町議会報告＆意見交換会（郡家地域）	
7月8日	議会広報委員会	
	八頭消防署若桜落成式	（川西み議長・川西聡委員長出席）
	智頭線利用促進協議会総会	（川西み議長出席）
	八頭町議会報告＆意見交換会（船岡地域）	
7月9日	八頭町議会報告＆意見交換会（八東地域）	
7月10日	第 62 回献血運動推進全国大会	（川西み議長出席）
	2026 原水爆禁止国民平和大行進	（灘口副議長出席）
7月11日	安徳の里・姫路公園まつり	（川西み議長出席）
7月13日	八東ふるさとの森まつり	（灘口副議長出席）
	津山智頭八東線道路整備促進期成会総会	（川西み議長出席）
7月20日	黄綬褒章受章祝賀会	（川西み議長出席）
7月22日	議会人権研修（京都市）	
7月25日	令和８年度八頭町３障がい合同体育大会	（川西み議長出席）
7月26日	第 44 回八頭町八東解放文化祭	（川西み議長出席）
	時局講演会　どうする日本 2026	（川西み議長出席）
7月27～28日	全国市町村国際文化研修所研修（滋賀県大津市）	（山根議員、奥田議員、中原議員出席）
7月29日	鳥取県町村議会女性議員研修　（森議員、上野議員、奥田議員、中原議員、川西み議長出席）	
7月30～31日	鳥取県東部広域行政管理組合議会視察（岡山県津山市、広島県三次市）（川西み議長、川西聡委員長）	
7月31日	第 42 回鳥取県反核・平和の火リレー	（灘口副議長出席）
8月2日	第 16 回隼駅まつり、郡家駅前ぷらっとぴあ	（川西み議長出席）
8月3～5日	鳥取県町村議会議長会役員行政調査（茨城県境町、栃木県那須塩原市）（川西み議長出席）	
8月4日	人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会	（田中議員、川西聡議員出席）
8月6～7日	全国市町村国際文化研修所研修（滋賀県大津市）	（森議員、岡嶋議員出席）
8月22日	第 20 回八頭町きらめき祭り	（川西み議長出席）
8月23～24日	全国政策研究集会（岡山県岡山市）	（川西み議長出席）
8月24日	議員・定数報酬調査特別委員会	
8月25日	議会運営委員会、全員協議会　総務教育常任委員会　産業福祉常任委員会	
8月28日	全国町村議会広報研修会	（上野議員、瀬村議員、奥田副委員長出席）
8月31日	議会モニター会議	
9月1日	議会広報委員会　議会 DX 委員会　全員協議会　委員長会議　議会運営委員会	
9月8日	第６回９月定例会（1 日目）　予算決算常任委員会	
9月9日	予算決算常任委員会	
9月10日	予算決算常任委員会	
9月11日	総務教育常任委員会　産業福祉常任委員会	
9月14日	第６回９月定例会（2 日目）	
9月15日	第６回９月定例会（3 日目）	
9月16日	全員協議会　議会運営委員会	
9月18日	第６回９月定例会（4 日目）議会運営委員会	

総務教育常任委員会

船岡屋内多目的運動場の現場視察

と　き　8月25日（火）

ところ　船岡屋内多目的運動場

目　的　現状を確認するため。

概　要

当日は常任委員会での各課報告説明の前に教育委員会による船岡屋内多目的運動場（旧船岡屋内ゲートボール場）使用中止の原因である建物の老朽化等の説明を受けました。施設の柱脚部分の腐食が深刻な状態であること、また構造上、柱と梁が一体化しており、基礎と締結部分が腐食し倒壊する恐れがあること等の理由により、冬季のみならず、8月31日をもって使用中止するという判断に至った経緯が説明されました。

また、改修工事については、柱脚部分の腐食部分のみを撤去し新しい構造用集成材に入れ替えることは現実的でなく構造計算等が出来ない。そのため県東部建築住宅課へ建築確認申請を提出しても受理されないという説明がされました。





産業福祉常任委員会

安心安全な上下水を　町内視察報告

と　き　8月25日（火）

ところ　郡家浄化センター　下門尾2号マンホールポンプ

目　的　料金改定における施設の現状把握のため、稼働状況等を調査。

所　感

今回の視察を通じて、郡家浄化センターおよびマンホールポンプ施設が、町民の快適で衛生的な生活と地域の水環境を支える重要なインフラであることを改めて認識した。高度な浄化技術と適切な維持管理により安全な水質が確保されている一方、施設や管路の老朽化、更新費用の増大、電気料金の高騰など、今後の運営には多くの課題があることも理解できた。上下水道事業は災害時にも欠かすことのできない住民生活に直結した事業であり、計画的な設備更新と効率的な維持管理による持続可能な運営が重要である。今後も安定したサービス提供と財政負担のバランスに注視していきたい。





議員人権問題研修で「ツラッティ千本」（京都市）を視察

7月22日（水）



議員人権問題研修の一環で、京都市北区にある人権啓発施設「ツラッティ千本」を視察し、千本地域の歴史や人権課題への取り組みについて学びました。

「ツラッティ千本」は、「連れあって暮らしていこう」という願いを込めて名付けられた施設です。1994年に人権啓発の拠点施設として開館し、現在は元楽只小学校跡地の「ふれあい共生館」に移転して運営されている施設です。

千本地域は、平安時代に葬送の地として知られた「蓮台野」に位置し、古くから葬送や清掃、皮革加工などを担う人々が暮らしてきました。明治時代には地域の人々が身分差別の撤廃や教育の充実を求めて行動を起こし、その後の解放運動へとつながっていった歴史について説明を受けました。



また、戦後の同和対策事業として住宅環境の改善が進められ、多くの集合住宅が整備された経緯や、住宅取得などにより地区外へ転居する住民が増え、人口減少や学校の統廃合につながったことも説明されました。

現在は廃校となった校舎を活用し、市民活動センターや児童館、保育所などを併設した複合施設として地域交流や人権啓発活動が行われています。



今回の研修では、京都市の同和対策や人権啓発の取り組みについて学ぶことができました。

また、鳥取県や八頭町の取り組みとは異なる歴史的背景がありましたが、地域の歴史を正しく知り、人権について考えることの重要性を再認識しました。

特に、部落差別の歴史や解放運動の歩みを学べたことは大変有意義でした。今後も、すべての人が尊重され安心して暮らせる地域づくりに向けて、人権意識の向上と啓発活動の推進を進めていくことが求められています。

開催しました



議会報告として、各常任委員会の活動報告、議員定数および議員報酬に関するアンケート結果等の報告をしました。

意見交換会では、住民の方々から様々な意見・要望が出されました。

町民の声

グラウンドゴルフ場などの施設利用を高齢者は無料化に出来ないか。

町の回答

使用料は施設の維持管理費の一部に県内他施設と比較しても安価な設定となっており、現在のところ見直しは考えていません。

町民の声

体育館の空調設備を設置してほしい。

町の回答

今年度、暫定的な対応として、気化式冷風機の設置を予定しています。

町民の声

最近、子供が少なくなってきて将来に危機感を覚える。八頭町でも婚活の推進をお願いしたい。

町の回答

今年度は第一次産業従事者を主な対象とする婚活事業を委託実施している。地域の婚活支援事業を推進していきます。

町民の声

部活動の種類、練習日指導者、地域クラブとの連携など検討状況が、十分に伝わっていない。中学入学を控える家庭では進路選択にも影響するので丁寧な情報提供をお願いする。

町の回答

中学校の受験時期に間に合うよう、中学校ホームページに掲載するなど丁寧な情報提供に努めます。

町民の声

船岡殿地区は隣接する水口地区の生徒がバス通学であるにもかかわらず、バス通の対象外となっている。
同じ地域内でも距離に差があり不公平感が大きい。地域の実情に応じた通学区分の見直しをお願いする。

町の回答

現在は集落ごとに通学方法を取り決めているが、船岡殿集落のようにスクールバス乗降場との不整合がある集落については見直しを検討します。

町民の声

不審者・野生動物の出没があり徒歩通学は安全とは言えない。
徒歩距離が長い集落はバス通学にしていただけないか。

町の回答

学校から集落中心部までの距離が２㎞未満の集落については徒歩通学としているが、安全確保や他校との整合性を踏まえたうえで、スクールバスでの対応が可能か検討します。



議会報告＆意見交換会を

７月７日（火）八頭町中央公民館
７月８日（水）船岡地区公民館
７月９日（木）八東体育文化センター

町民の声
子供の遊び場の確保を。ボールが使えるような場所が欲しい。

町の回答
既存施設の活用を含め、子どもの遊び場の整備について検討を進めています。

町民の声
雨天の時に子供を安心して遊ばせる場所が欲しい。

町の回答
遊び場の整備を検討中です。

町民の声
障がい者の方は警戒レベル３という状況の中から避難情報をもとにして避難しなければならない。（中略）
障がい者を対象にした訓練をするべきではないか。

町の回答
避難行動要支援者リストを参考に個別の声かけや車いすを活用した訓練を各集落で計画するよう、今後も助言・指導に努めます。

町民の声
八東・船岡図書館が令和６年４月から日曜日は休館になっている。子供たちが休日に過ごせる場所であり、開館していただくことは出来ないか。

町の回答
人員配置等も含め、開館に向けて協議調整を行います。

町民の声
船岡図書館について、本が出してあるだけの場所になっていて、その場で本を読むという気持ちにはなれない。

町の回答
出来るだけ環境改善に努めるが、施設自体が狭く物理的な限界もある点について理解していただきたい。

◆たくさんの意見・要望がありました。

いただいたご意見・要望については総務教育常任委員会及び産業福祉常任委員会においてそれぞれが所管とする項目に分けて協議し、その結果を行政執行部へ伝達し、執行部からの回答がありました。

議会モニター会議を開催

議会をより身近に



日　時　令和８年８月31日（月）19時

場　所　委員会室

出席者　モニター５人、議長、副議長、常任委員長、委員長

内　容
- 議員定数・報酬のアンケート結果と議会の方向性についての説明
- 議会運営、議会だより等についての意見交換

◎出された主な意見

議会活動・議会運営

・議会活動がみえない。可視化を進めて欲しい。
・議員の顔がみえる活動で日頃から議員さんがイベントにもでてくれて話ができる。
・気になったことを議員に相談できた。
・他の市町の人から行事に議員の姿がないが、八頭町はたくさんの議員が参加していると言われる。

議会だより

・議会だよりの中身、よくなった。知ろうと思えばインターネットも含めて、風通しもよくなっている。
・議会だよりの表紙の写真は町民から募集してはどうか。

議員定数・報酬

・定数・報酬のアンケートを電子申請にし、126件の回答があったのはよかった。
・八頭町議員はよく動いている。報酬を上げてもよいと思う。

まちづくり

・自動運転バスの導入をすれば、魅力のある町になるのではないか。
・生ごみ回収を促進して欲しい。野菜を作ることで農業に関心が増える。そういう町民が増えていって欲しい。

議会モニターさんからいただきましたご意見は議会で共有をはかり、より身近で信頼される議会となるように努めていきます。貴重なご意見ありがとうございました。



ここが聞きたい

一　般　質　問

10人が質問しました。

二次元コードを読み込むと、YouTube動画でご視聴いただけます。

質問や町長などの答弁は質問した議員の原稿に基づき掲載することを原則としています。

質問者	質問事項	頁
岡嶋　正広	町内運行バスの抜本的改革 子どもの居場所づくり	16
奥田　のぶよ	西郡家地区まちづくり委員会 八頭町音頭を活用した町の魅力発信	17
小原　徹也	移住・定住人口の取組	18
中原　幸恵	八頭町における手話言語条例の制定	19
瀬村　　巧	「ふるさと住民登録制度」導入による関係人口創出と地域活性化	20
森　亜紀子	八頭町地域公共交通計画	21
山根張太郎	体育文化等の活動支援	22
川西　　聡	「ぷらっとぴあ・やず」及び同所周辺の整備 本町の業務である、自衛隊に対する適齢者名簿に記載された個人情報の提供	23
田中　俊光	大雨に対する町の防災対策 子育てに関する施策	24
上野　典子	「第３次八頭町総合計画」および「第３期八頭町総合戦略」	25

議員の資質を高める新しい委員会がスタート

八頭町議会では、議員一人ひとりの政策づくりの力や行政をチェックする力、そして倫理意識をさらに高めるため、**「議会議員資質向上委員会」**を設置しました。

委員会は全議員で構成され、研修の企画、議会改革、コンプライアンスなど、議会の質を高めるための幅広いテーマを扱います。

委員長には瀘口議員、副委員長には髙橋議員が選出され、新体制のもとで議会全体の資質向上に向けた取り組みを進めていきます。

町内運行バス・鉄道

通学手段をやずバスと若桜鉄道にしては

町　長／柔軟な対応をしたい
教育長／選択肢の一つとしたい



岡嶋　正広 議員

質問　やずバスとスクールバスが別々に町内を重複して運行する区間は少なからずロスが生じていると思われる。子どもの数は減り続ける中、スクールバスを廃止し、やずバス及び若桜鉄道でスクールバス路線を補い、子どもたちの通学手段とする考えについて伺う。

答弁　矢部町長

地域の公共交通の維持の観点も考慮しながら子どもたちの、通学手段がよりよい環境になるよう、柔軟な対応をしていきたい。

答弁　野田教育長

町営バスの利用の場合、学校時間と運行ダイヤとの時間調整、下校時間の変更等への対応、人数が多い場合の増便対応などの課題がある。

若桜鉄道利用の場合ＪＲのダイヤ改正の都度学校の開始時間、終了時間の変更が必要となる。

しかしながら昨今の気象状況の変化によりバス通学希望者は増えている状況もある中、やずバスや若桜鉄道の利用も通学方法の選択肢の一つとして考えていく必要があると認識する。安全で確実な通学方法の確保について保護者、学校関係機関等と検討を進めたい。

質問　町内在住の小中学生及び70歳以上の方はやずバスの乗車賃無料とすることは考えられないか伺う。

答弁　矢部町長

一昨年夏休み中に試行的に行なった結果、一定数の利用があり教育委員会や学校等と協議の上前向きに進めたい。

70歳以上の方の乗車賃については、タクシー助成の証明書をお持ちの方は無料でやずバスを利用いただくことも検討したい。

子どもの居場所づくり

全天候型の遊び場づくりの計画は

町長／いくつかの案をシミュレーションしている

質問　全天候型の遊び場づくりについての今後の計画は。

答弁　矢部町長

現在、雨天時や降雪の時期に子どもたちが遊ぶことのできる全天候型の遊具を備えた施設がなく、子育て世代から要望が寄せられており、子育て施策の重要課題と認識している。

既存施設の有効活用や施設増設によるリニューアル等を念頭に幾つかの案を示す準備を進めている。なるべく早く実現したい。

質問　具体的にどの様なものを考えているのか。

答弁　矢部町長

既存の公園に大型の屋根を設置し全天候型の公園として整備、又は鳥取市河原の「トッキーノ館」や道の駅「ほうじょう」のキッズスペースなど、既存の施設をリニューアルさせることを念頭に役場内で組織した検討委員会等で幾つかシミュレーションしている。

その他の質問

・農業振興策



八東総合運動公園内の「こどもの丘」

まちづくり委員会

西郡家まちづくり委員会の活動拠点の考えは

町長／中央公民館を拠点としての活動と考える



奥田 のぶよ 議員

質問

①西郡家まちづくり委員会の活動を、町の地域福祉施策の中でどのように位置づけているのか。

②活動を継続、充実していくため、今後の支援は。

③活動の継続と発展に向けて、将来的な活動拠点の確保の考えは。

答弁 矢部町長

①世代を超えて支え合う地域づくりを目指すことを基本方針とし、第2期八頭町地域福祉推進計画を策定し、コミュニティの維持に向けた地域の力を集める拠点として位置づけている。

②現在、集落支援員を1名配置している。町の地区担当職員及び社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置している。

今年度、送迎用のワンボックスカーを1台乗車予定としている。

③新しい単独施設の建設は、場所の選定、財政面においても非常に厳しいと考える。中央公民館を拠点としての活動と考える。

質問

西郡家の対象となる高齢者の方は約400人あるが、月1回体操で参加の方が大体40人だ。各集落ともう少し密接した委員会にしていく必要性があるのでは。

答弁 矢部町長

地域の特徴、西郡家らしさを出されていくのはこれからだと思う。支援員とコミュニケーションを取りながら推進したい。

質問

集落支援員は地域のコーディネートする立ち位置ならば2人体制が正しいやり方なのでは。

答弁 矢部町長

今の活動なら1人でも十分だと認識している。

八頭町音頭

町のイベントで披露する場を進めては

町長／できる範囲で取り組んでいきたい

質問

①まちの魅力発信に活用できる文化的財産としての認識は。

②現在、町のPRや地域活性化にどのように活用されているか。

③若い世代への継承や今後の魅力発信に、町としてどのように取り組んでいくのか。

答弁 矢部町長

①町の発展と一体感を醸成するため、まちの将来像にふさわしく、誰からも親しまれる曲として、作成されている。地域全体でそれを共有する手法と強く認識する。

②現在、きらめき祭、竹林まつり、郡家西小学校運動会の演目等、地域や祭り、学校、団体の各現場で活用いただいている。

③今は、機会が減っているのが現状だ。各学校と共有し、強制にならない範囲で保育所や学校での活用を考えてみたい。集落からの希望があれば、講習に出向きたい。

質問

町のイベントで八頭町音頭を披露する場をできる範囲で進めては。

答弁 矢部町長

合併して20年たち、またさらに一つになっていこうという雰囲気が出てきている。機会が増えるようにできる範囲で取り組んでいきたい。



女性団体有志による踊り（きらめき祭り）

移住・定住
人口の取組

具体的に誰をターゲットに考えるのか

町長／都市部からの移住者を取り込みたい



小原　徹也 議員

質問　町長の考える移住・定住は。具体的に誰をターゲットに考えるのか。

答弁　矢部町長

移住対象者は八頭町以外の方であり、八頭町に魅力を感じる方はどなたでもおいでいただきたい。

単に移住者の奪い合いではなく、都市部からの移住者を呼び込みたいと思っている。

特に、地元出身者の方に八頭町へ帰って頂ければ、なおよいと考えている。

質問　町長は、就学や就職で町外並びに県外へ出た方を呼び戻す考えか。

答弁　矢部町長

ふるさとキャリア教育で、地元の良さの体験、体感を感じ県外に進学しても、八頭町へ戻ってきて活躍して頂きたい。

質問　移住・定住を見据えた子育て住居環境を公約されているが、働く場は移住・定住の一丁目一番地だ。どう考えているのか。

答弁　矢部町長

働く場の確保は必要だと考えている。鳥取県の有効求人倍率は1倍を超える売り手市場だ。

学校授業の一環として企業説明会を年度内に開催を考えている。

質問　大きな事業は国や県に頼る中で県庁の方を副町長へ招きいれたのは県庁とのパイプが重要だと判断されたのか。

答弁　矢部町長

県の補助金を確保するためのパイプ役というよりも、同氏の豊富な行政経験による見識を、本町がこれから取り組んでいく施策の推進に活かしたいと考えたものだ。

県との調整にも力を発揮してもらっている。大変心強く感じている。

質問　町長の考える、まちづくりのために少し強引にでも事業の財源をつくる政治戦略は。

答弁　矢部町長

ふるさと納税の積極的な推進、企業版ふるさと納税のためのトップセールスなどを行い、確保に努めたいと考えている。

事業によってはクラウドファンディング等の活用も有効な手段だと感じている。

質問　来年は知事選・県議選が予定されている。先ほど質問した公約実現に停滞は。

すぐに前へ進める必要があるが認識は。

答弁　矢部町長

公約は、町民の皆様との約束だ。

知事選、県議選に左右されることなく、着実に進める所存だ。



八頭町役場本庁舎

手話言語条例

手話言語条例の制定は

町長／現時点では計画してない



中原　幸恵 議員

質問　八頭町における障がい者福祉や手話の普及啓発の現状と課題をどのように認識しているか。

答弁　矢部町長

障がい者福祉の現状は、意思疎通支援や情報アクセシビリティの向上が進められる一方、全く聞こえない人、聞こえづらい人、手話を使う人、手話を使わない中途失聴者までニーズが多様であり、一律の対応が難しい。

課題は、高齢化率の上昇に伴い、加齢による難聴者が増えており、音声によるコミュニケーションが難しくなり、地域社会や行事から足が遠のき、社会的孤立につながっていることである。

手話の普及啓発の現状は、鳥取県聴覚障害者協会に東部圏域の手話奉仕員養成講座事業を委託して、手話奉仕員養成講座や手話講座などを開催している。

福祉課の窓口に手話検定や手話講座に関するチラシを配架し啓発に努めている。課題は、手話に触れる機会や学ぶ環境が少ないことである。

質問　手話の普及啓発のために、広報やずに手話コーナーを作ってはどうか。

答弁　矢部町長

十分検討したい。

質問　行政窓口や防災情報など、町の情報提供における手話対応体制の整備状況と今後の方針は。

答弁　矢部町長

窓口の対応として、手話対応ができる職員を配置するのが望ましいが、手話の習得レベルにより、正確な対応が困難な場合もある。

耳マークを備えており、コミュニケーション支援ボードや筆談で対応していきたい。

聴覚に障がいのある方々への災害時の防災情報の伝達手段の確保は、命を守る上で極めて重要な課題であると認識している。現在、防災行政無線のほか、ホームページやテレビの文字放送、スマートフォンの鳥取県防災アプリによる情報発信を行っている。手話での対応は迅速な情報発信が困難であると考え体制を整備していない。

質問　アイドラゴン４（手話と字幕の番組で目で聞くテレビの専用受信機）を導入後の進捗状況は。

答弁　西山福祉課長

機器は納入し、現在、接続に向けて手続をしている。

答弁　矢部町長

アイ・ドラゴン4で独自の番組を流している自治体もあると承知している。

良い活用の仕方があればという事で、調査研究はしっかりしていきたい。

質問　八頭町の手話言語条例を制定する必要について考えを伺う。

答弁　矢部町長

県は条例を踏まえ、県障がい者プランで手話が使いやすい環境を整備するための必要な施策を定めている。県全体の取組として、手話普及のための施策を推進している。県内の市町村で条例制定しているのは米子市のみで、町として条例制定は、現時点では計画していない。



手話を学ぼう

ふるさと
住民登録制度

具体化に向けた今後の検討は

町長／県のモデル事業を注視しながら検討したい



瀬村　巧 議員

質問

地域と継続的で多様に関わる関係人口の重要性が増す中、ふるさと住民制度の導入について問う。

①ふるさと納税やイベント等による関係人口創出の手応えや成果の認識と、それらを一元化、可視化する本制度に対する現在の取組状況について伺う。

②制度導入によって本町に対してどのような効果を期待できるか見解を伺う。

答弁　矢部町長

①ふるさと納税は、県内でも多くの自治体が苦戦を強いられている中で、7月末時点で個人版の寄附、ふるさと納税の寄附額は約1．2倍、企業版の寄附額は、既に昨年度を超えている。職員一丸となって取り組んでいる。

イベント等は、隼駅まつりでは、過去最多の約2，600台のバイクと、約3，000人のライダーにお越しいただいた。八頭カップ少年野球交流大会では、町外から14チームが宿泊し交流をした。

きらめき祭は、過去最多の約5，500人の来場があった。

東京渋谷区から7月に区議会議員の交流団を迎え、本町の廃校利用の取組を視察して宿泊いただいた。

11月には渋谷区から民間団体が宿泊し、地元の方と交流する予定だ。教育委員会を通じて子供どうしの交流ができないか模索をしている。また、台湾の旅行者へ若桜鉄道を活用しての旅行プランの営業など話を進めている。

来年度開催されるワールドマスターズゲームズに合わせて、姫路市のバス会社に、本町での旅行プランの設定など、話を進めている。

関係人口の創出に関しては、一定の手ごたえのもと、地元の団体や役場職員、私の独自性も併せながらしっかりと花が開くように種まきができていると認識している。

ふるさと住民登録制度は、国や県からの情報を適宜収集している状況である。

②人のつながりの期待、紹介案件の増大などを目指して、戦略的に取り組むように期待している。移住よりも関係人口の増加の取組が期待される。

質問

今後の具体化に向けた検討と運用性は。

①制度化に向けた調査、検討を進めていく考えがあるか。

②本町と関係人口を結ぶ推進役として、町内の熱意ある民間事業所、団体、個人等、住民参加型の運営体制を構築する考えはあるか。

答弁　矢部町長

①本制度との親和性や先進事例の研究から、八頭町に合ったスタイルや、本町の課題解決にいかにつながるのかといった視点も取り入れ、県のモデル事業を注視しながら検討していきたい。

②情報発信系にたけている方、影響力のある方に担っていただく。地域おこし協力隊の経験者や関係者などで、地域づくりで連携してきた方をコーディネーターとして設置する。観光、担い手不足を補うという観点で、観光協会や商工会、民間企業等に業務を委託が想定される。元気でやる気がある方、思いがある方で、推進役を担っていただくということは、歓迎したい。各市町村がこれまで実施してきた多様な制度や取組を生かしながら、その内容をさらに深化させ、全市町村が参画できる体制を確立することが重要である。



隼ライダーの聖地（隼駅）

地域公共交通計画

若桜鉄道のこれからの方向性は

町長／観光誘客で旅客収入増の推進を目指したい



森　亜紀子 議員

質問

①利便性の高い移動手段の確保や、効率的で持続可能な公共交通ネットワークを構築することを目的に策定された「八頭町地域公共交通計画」には、本町の公共交通の課題が5項目に整理されている。現状を問う。

人口減少や高齢化、地域の特性を踏まえた公共交通網の構築は。

運行の効率化や過度な行政支出の抑制等を踏まえた公共交通網の維持・確保は。

町内の交通資源の活用・配置による運転者不足への対応は。

公共交通の利用環境整備は。

公共交通の利用促進と守っていくための意識醸成・理解促進は。

地域公共交通会議が設置されているが、定期的に会議が行われ、情報発信されているのか伺う。

②若桜鉄道の車両更新も迫っている。これからの方向性は。

答弁　矢部町長

①公共交通網の維持・確保・運転手不足の対応のため、若桜鉄道はJRのOBの方の雇用や八東駅行き違い線の整備以降、当初15往復あったダイヤが13往復で運行している。町営やずバスは大江線、見槻線の減便を行い運行の継続をしている。

若桜鉄道は、国の登録有形文化財でレトロ感を維持するため、計画的な修繕を行うとともに、路線バス沿線の待合所の改修・改築等を随時行い、利用環境の整備を行っている。

公共交通の利用促進策は通勤・通学のみならず、貸切列車によるイベントの実施や、各種ツアーの受入れ等観光施策との連携を深め多くの方が利用される機会を創出している。

また、若桜鉄道では若桜鉄道沿線各駅を守る会連絡会を発足し、今後一層の連携を図る取組を始められた。

公共交通を守る意識醸成や利用促進につながると期待している。

地域公共交通会議は年1回の定例会の他、協議事項があれば随時開催しており、実績報告はホームページに掲載している。

②今後は観光誘客に一層力をいれ、海外インバウンド客をはじめ、団体や貸切り等の普通旅客収入を増やす方策を若桜町や鳥取市、県とも協力しながら、強力に推し進めていかなくてはならないと考えている。

車両に関しては関係者で車両更新の協議を行っている。立地適正化計画の策定と併せ、鉄道事業再構築計画を策定し、有利な国の補助を活用したい。

車両のデザインは、観光誘客に力を入れるためにも、沿線駅舎との統一感を演出するような車両がいいのではないかと、若桜町とも協議を重ねている。

観光的手法から収益を増やし、それがまち全体に好影響が及ぶようにしたい。また、町民の皆さまから愛され利用される鉄道となるよう目指したい。

質問

年々資材が高騰している中、事業費がかさむと予想される。できるだけ早く方向性を示し、町民の皆さまと車両について対話しながら検討してはと考えるが。

答弁　矢部町長

何もないゼロのところから話し合うのは難しい面があると思う。ある程度の方向性、話の土台に上がるものがあって、いろいろなご意見を聞くことについては、若桜町、若桜鉄道と話をしてみたいと思っている。



若桜鉄道車内

社会体育施設

体育館等の利活用は考えられないか

町　長／検討委員会で取り組む
教育長／在り方を検討していく



山根　張太郎　議員

質問

①耐用年数が比較的長い体育館等の利活用は考えられないか。

②床面を人工芝に張り替えて多目的に活用できるように改良してはと考えるが。

③改良で体育目的の利用から災害時の避難所、公民館活動の活性化策に活用できると考えるが。

答弁　矢部町長

①今後、既存の公共施設が一斉に大規模改修や更新の時期を迎える中、体育館の新たな利活用も検討していきたい。

適正規模や費用対効果、町民のニーズ等をしっかり把握、検討して20年先も町民が豊かに暮らせるまちづくりを目指して検討したい。

②役場内を横断的に組織化した公共施設の在り方検討委員会で重ねていきたい。

体育館を多目的屋内施設としての活用も選択肢であり、施設ごとの診察カルテ的なものを作成し、しっかり取り組んでいきたい。

③人工芝化に当たっては、避難所運営において衛生面及び感染症の課題が考えられる。

安全面で暖房器具の使用による熱変形のおそれや、車椅子、歩行器を利用される方の移動負荷が増す心配がある。慎重に考えたい。

答弁　野田教育長

①体育館はどの施設も40年近くが経過している。維持管理を図りながら活発にご利用いただいている。体育館全体の在り方を検討していく必要がある。

②人工芝を張ることでクッション性に優れるという点があり、小さなお子様や御年配の方などの体を動かす場として広く活用いただけると考える。

様々な世代の利用やニーズに対応できる点はある。

一方、人工芝にすると床張りでないとできないスポーツもある。両方の視点を持って検討していかないといけない。

質問

費用からみれば、今の施設は免震耐震構造になっている。避難所には適材だと考えるが。

答弁　矢部町長

施設ごとのカルテを作成し、しっかりと繰り組んでいく。

答弁　野田教育長

優先順位等を検討しながら考えたい。床面をなくして地面にするというような屋内の施設にというようなことも踏まえて可能性を考えながら検討したい。

質問

全天候型でスポーツが楽しめる郡家ドームがある。テニス愛好家の方が利用されているが、鳥取市の利用者で町内の方が使えないような状況にあると聞くが。

町内の室内競技のグループが使用できる配慮はできないか。

答弁　矢部町長

市内在住のテニス愛好家の方が多いのは承知している。住まいは市内だけど町内で働く人や、町内利用者の紹介の方もいる。

検討委員会等で利用の規定を改定してもいいのではという話もある。

使用によっては人工芝の傷みが進むのではという意見もあり、慎重に考えたい。

答弁　野田教育長

利用を限定するのではなく、幅広く使えるようなところが克服できないかというところは議論していきたい。



さらなる活用を期待する大御門体育センター

周辺整備

JR郡家駅付近のアーケードを

町長／所有者の意向と駅前再整備計画とを照合する



川西　聡 議員

質問
①駅正面上部のガラス窓及び西側ガラス窓の日除け対策は、今夏の激しい日射から見て整備が必要ではないか。
②駅付近にあるアーケードは建設後から約50年が経過し、支柱が曲がっていたり、また錆だらけのものもある。同所の修繕や解体には本町の「補助金等交付規則」の適用がない。適用ができるように追加するべきではないか。

答弁　矢部町長
①管理者の観光協会には対応実施の声は寄せられていないこと、また管理者の必要性は低いとの意見もあり現時点では対応を見送っている。西側の日除け実施は対象範囲も少なく、専門業者に費用を検討して貰っている。
②アーケードの設置は、当時の駅前商店会が行っている。一番は所有者の意向だ。現在、本町で検討中の「立地適正化計画」の駅前再整備との照合も併せて総合的に判断していく。

質問
①日除け対策は基本だ。設計ミスだったのではないか。
②支柱の曲がりや腐食の修繕は考慮するべきではないか。

答弁　矢部町長
①今ある現状を上手にご活用頂きたい。
②所有者の声を聞き考えたい。



老朽化したアーケード（郡家駅前）

自衛隊への情報提供

以前の閲覧方式に戻すべきでは

町長／一切考えていない

質問
現在、本町が行っている自衛隊への個人情報の提供を以前の閲覧方式に戻すべきではないか。

答弁　矢部町長
自衛官募集事務は、自衛隊法で市町村の法定受託事務と定められている。また、同法施行令で、防衛大臣は市町村長に対して募集対象情報の提供を求めている。個人情報保護法では、法令の基づく場合は本人の同意を得ずに情報提供ができるとされ何ら問題はない。
事務の省力化や正確性の確保の観点から国の通知に基づき実施している。従前の閲覧方式に戻すことは一切考えていない。

質問
住民基本台帳法では国の請求であっても閲覧しか認められていない。何で情報提供ができるのか。

答弁　矢部町長
前述の諸法令で定められているからだと認識している。

質問
住民基本台帳法には情報提供の項目はどこにもない。台帳法通りにするべきではないか。

答弁　矢部町長
個人情報の名簿提供が定められている自衛隊法という法令に基づいて法定受託事務を行っている。

質問
自衛隊法や同法施行令には個人情報の提供を求める規定はない。
自衛隊への情報提供の除外申請のお知らせは、広報ではなく自衛隊の任務の内容も示して個人個人に通知を出すべきではないか。

答弁　矢部町長
お知らせの仕方は協議する。

大雨の防災対策

大雨に対する町の防災訓練の見直しは

町長／状況に応じた避難を行うよう啓発したい



田中 俊光 議員

質問 千葉の大雨被害は、現在の防災に対する考えを揺るがす事柄だ。町の大雨に対して防災訓練の見直し等はないか。

答弁 矢部町長

今後は、垂直避難など、状況に応じた避難を行うよう啓発を強化したいと考えている。

質問 明るい時間、雨が降らない状況での避難訓練が、いざというときに役立つかどうか疑問だ。時間帯の変更をする考えはないか。

答弁 矢部町長

夜間は、危険も多いし、課題もあると考える。

質問 地球温暖化で大雨の降り方が悪化することを前提で、防災マップ等を再検討する考えはないか。

答弁 矢部町長

今後改訂する防災マップでは、おおむね1，000年に一度の大雨確率に基づく想定最大規模の洪水浸水想定区域図とし、見直しを行い、集落によっては避難所の選定を見直し、反映された防災マップの改訂を今年度進めていくよう計画している。



私都川の氾濫（令和5年）

子育て施策

町職員の育児に係る町独自の施策はないか

町長／各自治体の取り組みを研究してみたい

質問 町外への人材の流出を防ぐため、また町職員の人材確保のため、町独自の育児に対する施策はないか町長の所見を伺う。

答弁 矢部町長

本町独自の施策ではないが、育児休業制度や子どもの看護等の休暇など、国の制度に基づく各種制度を整備し、職員が安心して育児と仕事を両立できる環境づくりに努めている。

質問 孫に対して看護や世話のために取得できる孫休暇制度を、長野県の諏訪市と三重県の桑名市が、取り入れていると聞いている。子どもの親の育児休暇制度をおじいちゃん、おばあちゃんにスライドさせる自治体職員の制度だが、鳥取県下の自治体に先駆けてこういう制度を取り入れられないか。

答弁 矢部町長

移住も含めていろいろなことにつながっていくというふうに考えられるので、その辺りは各自治体の取組ということで、再度ちょっと研究をしてみたいという気持ちはある。



郡家ふれあいドーム横・子ども広場

総合計画・総合戦略

見直し改定の意思はあるか

町長／議決事項で変えるつもりはない



上野　典子 議員

質問　町長のカラーや独自の方針を反映させるため、改定や見直しを行う考えはあるか。

答弁　矢部町長

私が掲げたものは、重点政策として総合計画、総合戦略に盛り込まれている。達成に向け、新たな視点戦術を取り入れ、事業展開するのが私の強みだ。議決された基本構想のとおり、まちづくりを推進していきたい。

質問　福祉の充実を維持には、財源を生み出す商業、産業の活性化策を次期計画の柱として強力に盛り込んでいくべきと考えるが。

答弁　矢部町長

議会の議決事項だ。変えるつもりはない。ゴールは同じだ。

質問　総合計画の開発は都市開発なのか。空き店舗を活用した活性化なのか。駅前の具体的な案が既にあるのか、検討中なのか。

答弁　矢部町長

立地適正化計画で検討中だ。議会、町民の皆様と作り上げていく。

質問　郡家駅前活性化検討委員会の報告書は活用されると思うがどうか。

答弁　矢部町長

内容は熟知している。立地適正化の計画の中では、取り入れ参考として検討の中に入れていく。

質問　国の助成を前向きに考えるという事だが、駅周辺は基本的なインフラ整備さえ放置だ。国から大胆に予算を確保する強い意志あれば、足元のインフラ整備から予算を投入という方法もあるが。

答弁　矢部町長

立地適正化計画は、郡家駅前だけでなく町全体の中で考えている。

質問　郡家駅前の空き店舗は、掃除すらされていない状態である。立地適正化計画の本格着工を優先するために、空き店舗は、無駄だからとしているのか。

答弁　矢部町長

店舗を改修する補助は、以前からある1／2は所有者負担だ。行政のほうで誘導ということは難しい。話をすることはできるが、所有者の判断となる。

質問　50万円補助のために、50万円手持ちが要る。50万円で掃除や整備から始めるにはチャレンジできる環境ではないと思うが。

答弁　矢部町長

改修する補助は出る杭の補助金とは別だ。出る杭では、新規出店で50万の補助だ。併用ができ、100万円の支援をしている。商工会とも連携して進めていきたい。

質問　現在、商工会の上層部が生活品の自動販売機を活用した企画を考えている。駅前でこの成功例を一つつくり、将来的には、必要な地域にも水平展開し、活性化するものだ。町として連携する意思はあるか。

答弁　矢部町長

話をいただいたら、一緒に町を盛り上げるために取り組んでいく。



郡家駅前空き店舗風景

※議会だよりの発行は2月、5月、8月、11月の年4回です。

空き家を地域の資源に

合同会社ＢＯＣＯＷＯＲＫＳ
代表社員　山邊（やまべ）　裕司（ゆうじ）　さん

空き家の片付けで処分される残置物や、解体される家から出る古材や建具を見て、「まだ使えるのにもったいない」と感じていました。

そこで、さまざまな場所を訪ねて取組やノウハウを学び、これまで捨てられていたものをゆるやかに循環させ、地域の資源として活かす場所を作りたいと考えました。その思いから、令和８年８月１日に「アップサイクルベース凹（ぼこ）」をオープンしました。

ここでは、元のカタチのまま次の人へ引き継ぐことも、新しいカタチに生まれ変わらせて引き継ぐこともできます。そして、実際に手を動かし、ものづくりに関わる体験も用意しています。

つくる。つかう。かかわる。

そのすべてを通じて、空き家はただ古くなった建物ではなく、そこにあるものも含めて地域の資源であるということを伝えていきたいと思っています。

私たちの活動を通じて、少しでも「もったいない」を減らし、地域にある古いものを大切な資源として活かしていく。そんなまちになっていけばいいと思っています。



議会の傍聴は船岡庁舎３階で行っています。ぜひ傍聴においでください。

また、本会議はケーブルテレビで生中継もしています。

さらに、定例会の本会議はユーチューブ配信もしています。

TEL　0858-72-3975　FAX　0858-72-2641（議会事務局）　八頭町議会　検索

議会、議会だよりに関するご意見、ご要望をお寄せください。

編集後記

今回の議会だよりでは、８月に東京で開催された町村議会広報研修会に参加された上野委員、瀬村委員と共に、担当ページの編集作業を進めました。両委員から共有いただいた他自治体の紙面づくりの工夫や情報のまとめ方に触れ、大いに刺激を受けました。特に、内容のポイントをわかりやすく示す方法や、読みやすさを意識した紙面づくりの考え方など、日々の編集に役立つ学びを取り入れています。町民の皆様から寄せられる「議会活動が見えにくい」との声を踏まえ、より親しみやすく手に取っていただける広報誌となるよう、これからも工夫を重ねてまいりたいと思います。

（記：灘口茂郎）

編集委員

委員長　田中　俊光
副委員長　奥田のぶよ
委員　森　亜紀子
委員　上野　典子
委員　岡嶋　正広
委員　瀬村　巧
委員　灘口　茂郎

発行／鳥取県八頭町議会　　編集／八頭町議会広報委員会　　印刷／中央印刷㈱

PRINTED WITH SOYINK
再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています